

共 架 工 事 基 準（中間部機器）

1 適用範囲

この共架工事基準（中間部機器）は、中部電力パワーグリッド株式会社（以下、「当社」といいます。）の電柱に、当社所定の共架契約約款の定めに従うことを確約した共架者が所有する中間部機器を共架する場合の工事に適用するものとします。

2 関係法令の遵守

共架者は、共架工事の実施にあたり、この工事基準のほか電気設備に関する技術基準を定める省令、電気設備の技術基準の解釈（以下、「電技解釈」といいます。）、有線電気通信設備令、有線電気通信設備令施行規則およびその他関係法令を遵守するものとします。

3 共架物件

（1）共架物件の種類

共架物件は、無線器および無線器に附随するアンテナ、監視機器、測定機器、センサー機器およびこれらの電源供給器、付属設備、保護管および腕金とします。

発音、発光（機器制御用の電源ランプ、防犯灯等は除きます）、発臭する機器など、公序良俗に反する機器は共架応諾不可とします。

（2）共架物件の設置数

4（離隔距離）、5（昇柱空間の確保）および6（共架物件の施設方法）の規定を満足する場合、共架電柱1本あたりに共架できる共架物件の台数は制限しないものとします。

4 離隔距離

共架者は、共架者が施設する共架物件と、当社所有の特別高圧配電線、高圧線、低圧線、変圧器および通信線に対して、次の離隔距離を確保するものとします。

当社所有の設備		当社所有の設備が施設された共架電柱の取付点
特別高圧配電線		2．0 m以上
高圧線	絶縁電線	1．0 m以上
	ケーブル	0．5 m以上
低圧線	絶縁電線	0．6 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0．3 m以上
低 圧 引込線	絶縁電線	0．3 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線 特別高圧絶縁電線	0．15 m以上
変圧器底部		0．6 m以上
通信線		0．3 m以上

(注1) 本表は、共架者の承諾を得た場合の離隔距離を示す。

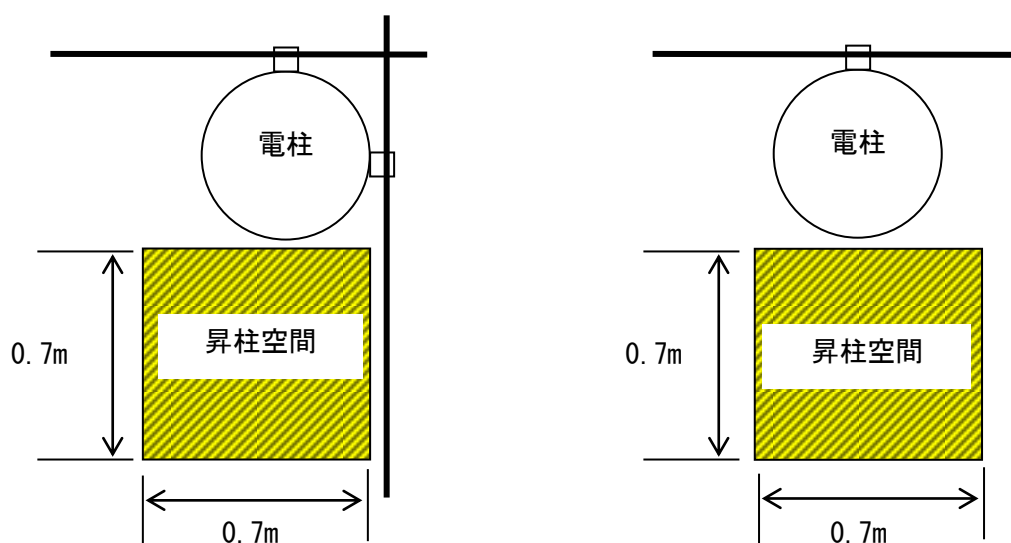
(注2) 共架物件の電源線と通信線とは、直接接触しないよう施設する。

(注3) 共架者の通信線を堅ろうに固定した保護管に収納した部分は対象外とする。

5 昇柱空間の確保

共架者は、共架物件の施設において、次に規定する昇柱空間を確保するものとします。

- ① 底辺を一边0.7mの正方形とし、共架電柱に沿って地表面から共架者の最上位の共架位置までの直方体の昇柱空間（図1参照）を確保すること。
- ② ①の昇柱空間内には垂直配線を施設しないこと。ただし、保護管その他の被覆により保護され、かつ共架電柱の表面に密着させて取り付ける場合はこの限りではない。



〔図1〕

6 共架物件の施設方法

共架電柱における共架物件の施設方法は、次によるものとします。

- ① 共架物件は、以下の共架電柱には施設できないものとする。
 - ・自動制御機器柱
 - ・継電器柱
 - ・スマートメーター用中継装置柱
 - ・末端センタ柱
 - ・ケーブル立ち上がり柱
 - ・SVR等の電圧調整器柱
 - ・その他当社の指示する柱
- ② 共架物件は、4（離隔距離）および5（昇柱空間の確保）を満足し、かつ他の共架設備および電柱広告等に支障を及ぼさない位置に施設する。
- ③ 共架物件は、道路法等で規定される最低地上高以上、5.2m以下の地上高に施設する。
- ④ 共架物件は、当社の作業者の電柱昇降および作業等に支障とならないように、共

架電柱表面から0.3 m以上、かつ1.0 m以下の範囲内に施設する。

- ⑤ 共架物件は、腕金により共架電柱に堅ろうに施設するものとし、その腕金は、その上部に当社の作業者が乗った場合の荷重にも十分に耐えうるものであること。
- ⑥ 共架物件は、当社の作業に支障とならないよう、その腕金の上面に設備が出ないように施設する。
- ⑦ 共架物件の工事施工においては、材料、工具類の落下防止措置を確実に実施する。
- ⑧ 共架物件に接続される通信線および電源線は、垂れ下がらないよう堅ろうに施設する。
- ⑨ 腕金は道路側に設置させ、槍出し方向は、配電線路（道路）と直角方向を優先する。ただし、当社の指示がある場合は、その指示による。
- ⑩ 共架物件への電源供給は、屋内電気設備からの引き出しはせず、商用電源からの供給とする。

7 垂直配線の施設

共架者は、原則として当社の垂直配線のある共架電柱に共架者の垂直配線を施設してはならないものとします。ただし、施設形態上やむを得ない場合であって、あらかじめ当社の承認を受けときは、当社の垂直配線と共架電柱を挟んだ対向側に共架者の垂直配線を施設するものとします。なお、共架者の垂直配線は、保護管その他の被覆により保護されかつ共架電柱の表面に密着して取り付け、当社の足場ボルトの安全な使用を妨げないように足場ボルトから7 cm以上離して施設するものとします。

8 接地工事

共架者の接地線と当社の接地線とは共用しないこととします。

9 標 識

共架者は、中間部機器に、共架者の名称またはマークの入った識別可能な標識を取り付けるものとします。なお、当該標識は、十分な視認性および耐候性を有するものとします。

10 安全確保

共架者は、当社所有の足場ボルトの機能を妨げないように、足場ボルトと共架者所有の共架物件との垂直距離15 cm以上を確保して施設するものとします。

共架者は、共架工事の施工にあたって、公衆保安を確保するとともに、当社の設備および他の通信設備等に損傷を与えないこととします。

以 上